## FDPS講習会

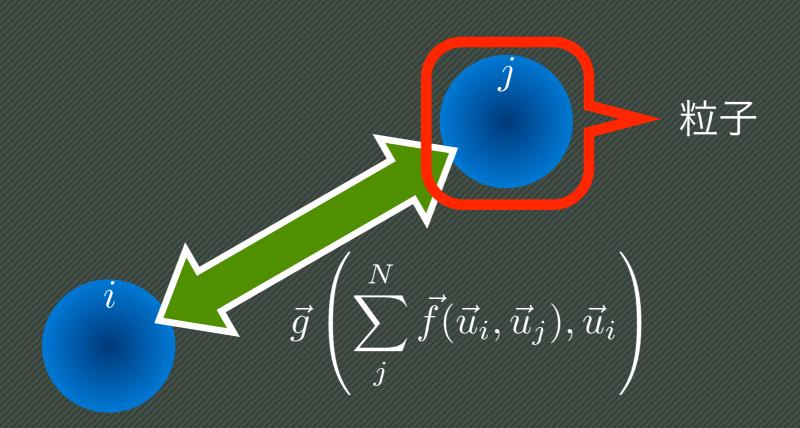
## 実践編

細野 七月

理研 AICS 粒子系シミュレータ開発チーム

#### FDPSが扱うもの

●個々の要素に作用する力が、 **粒子間相互作用の重ねあわせ**で記述できるもの



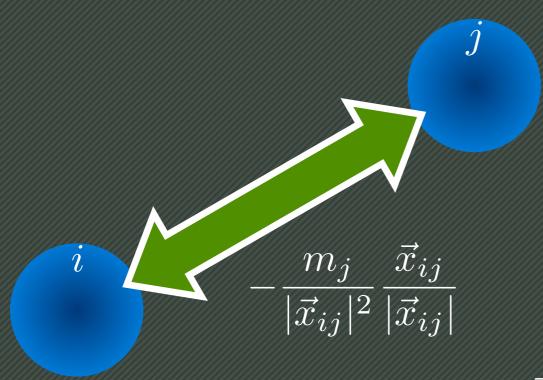
$$\frac{d\vec{u}_i}{dt} = \vec{g}\left(\sum_{j}^{N} \vec{f}(\vec{u}_i, \vec{u}_j), \vec{u}_i\right)$$



#### FDPSが扱うもの

●個々の要素に作用する力が、 **粒子間相互作用の重ねあわせ**で記述できるもの

(例)ニュートン重力



$$\frac{\vec{x}_{ij} = \vec{x}_i - \vec{x}_j}{\frac{d\vec{u}_i}{dt}} = -\sum_{j} \frac{m_j}{|\vec{x}_{ij}|^2} \frac{\vec{x}_{ij}}{|\vec{x}_{ij}|}$$



## 実際に書く前に…

- ●FDPSを使うのに必要な知識 Cと(ほんのすこしの)C++
- ●``ほんのすこし"のC++ってなに?
  - (1)クラス
  - (2)メンバ関数
  - (3)テンプレート
- ●以下では、それぞれについて、
  - ◆それは何か?
  - ◆FDPS内でどう使われているか? の順に解説



# (1)クラス Class

#### クラスの概略

- ●複数のデータをまとめたものCで言うところの構造体
- ●クラスを使うと…
  - ◆演算子を定義出来る。
  - ◆サブルーチンに値を送るときに楽。
  - ◆後からデータ付け足すのも楽。
- ●FDPS中では、三次元ベクトルをやりとりするのに便利な ベクトルクラスが用意されている。

また、ユーザーは粒子データをやりとりするために必要な

粒子クラスを記述する必要がある。

#### ベクトルクラス

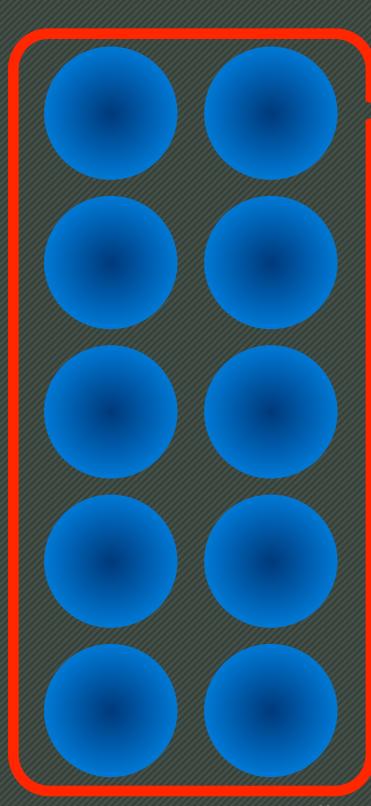
- ●数学演算子を定義している例
- ●三次元ベクトル演算を実装してあるFDPSの組み込みクラス

```
Will render as C++.
vec.cpp
      PS::F64vec v1 = PS::F64vec(1.0, 2.5, -3.0);
     PS::F64vec v2 = PS::F64vec(-2.0, -1.5, 2.0);
 3
     PS::F64vec v_add = v1 + v2; // add
     PS::F64vec v_sub = v1 - v2; // sub
     PS::F64 inner = v1 * v2; // inner product
     PS::F64vec outer = v1 ^ v2; // outer product
 8
     std::cout << v_add.x << std::endl;</pre>
     // -1.0
10
     std::cout << v_dub << std::endl;</pre>
11
      // 3 4 -5
12
```

コンパイル時にマクロを設定する事で、

二次元ベクトルにする事も可能。 2015/07/22 FDPS講習会





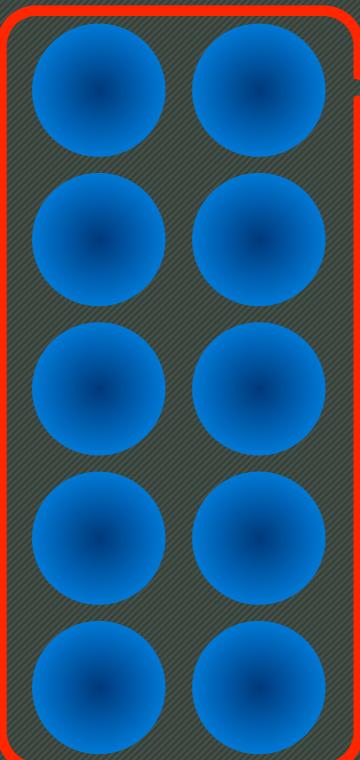
Nbody個の粒子

必要なデータは…

- **O**mass
- position(x, y, z)
- velocity(x, y, z)
- acceleration(x, y, z)

//=:															=						=					٠ı	
Ϊ																										Ĥ	Ĺ
-11 :	: :																									Ш	ĺ
	: :																									Ш	ı
-11 :	: :																									Ш	ı
-11 :	: :																									П	ĺ
Framework for Developing															İ												
Ħ							P	a	Г	t			٦	R	s	n	ú	ī	a		г					Ħ	İ
\\=:															=											ï	1

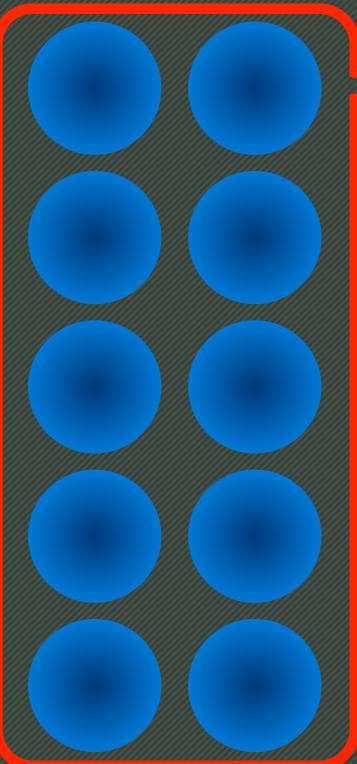
●クラスなしで書くと…



#### Nbody個の粒子

```
double mass[Nbody];
double position[Nbody][3];
double velocity[Nbody][3];
double acceleration[Nbody][3];
```

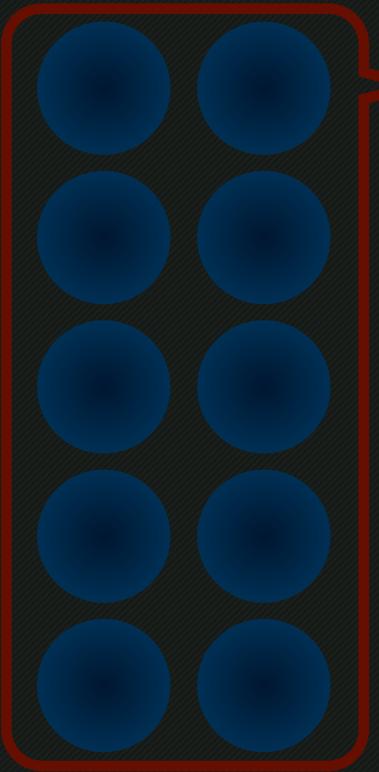
●クラスを使うと…



Nbody個の粒子

```
1 - class FPGrav{
2    double mass;
3    double position[3];
4    double velocity[3];
5    double acceleration[3];
6 }body[Nbody];
```

●クラスを使うと…



Nbody個の粒子

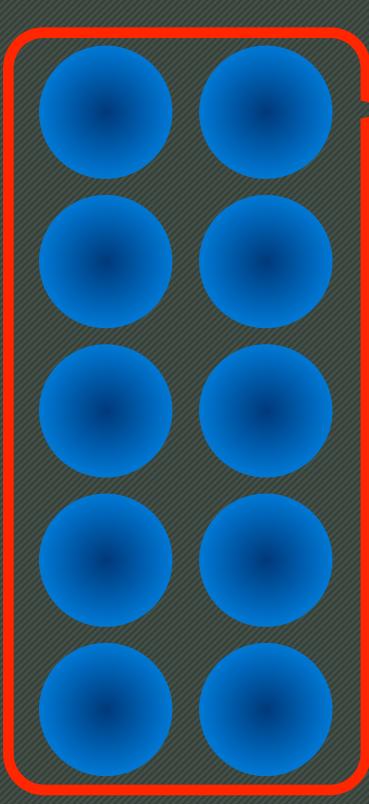
```
1   class FPGrav{
2   double mass;
3   double position[3];
4   double velocity[3];
5   double acceleration[3];
6  }body[Nbody];
```

2015/07/22 FDPS講習会

#### 再掲・クラスのメリット

- ●クラスを使うとサブルーチンに値を送るときに楽。
- ●後からデータ付け足すのも楽。

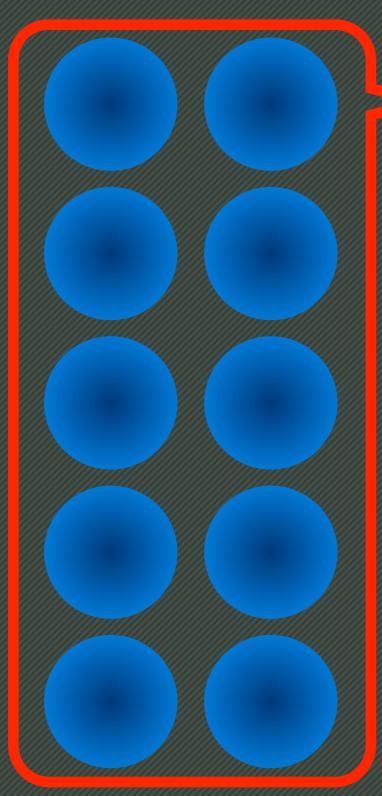
```
1  //without class
2  void calcSomething(double mass[], double position[][3], double velocity[][3], double acceleration[][3]){
3     //calculate something...
4  }
5     //with class
7  void calcSomething(FPGrav particle[]){
8     //calculate something...
9 }
```



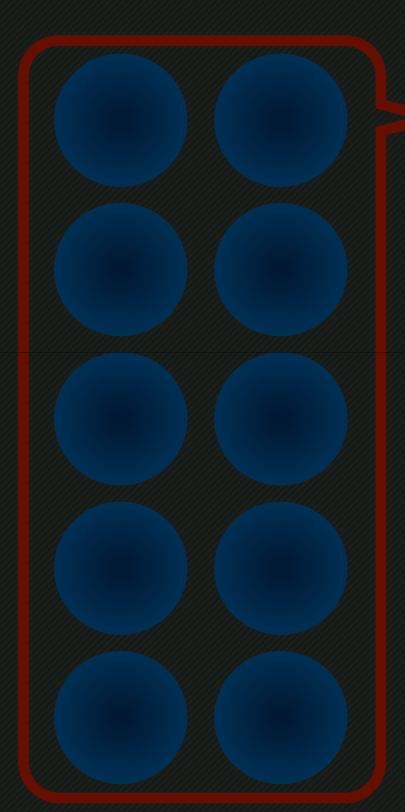
Nbody個の粒子

●ところで、FDPSは数値計算に便利な ベクトルクラスを用意してあった。

2015/07/22 FDPS講習会



#### Nbody個の粒子



Nbody個の粒子

```
1 class FPGrav{
2 PS::F64 mass;
3 PS::F64vec position;
4 PS::F64vec velocity;
5 PS::F64vec acceleration;
6 }body[Nbody]; クラス内クラスも可能
```

# (2)メンバ関数

member function

#### メンバ関数とは

- ●クラス内の変数(メンバ変数)**達に対して、** 何らかの処理を加えたい時に記述するもの。
- ●FDPSを用いる場合、 ユーザーはFDPSとユーザーコード間でデータのやりとりをする ためのメンバ関数を書く必要がある。

```
1 - class FPGrav{
                          PS::F64 mass;
                          PS::F64vec position;
                          PS::F64vec velocity;
                          PS::F64vec acceleration;
                          //member functions
                          PS::F64vec getPos(){
                             return position;
                     8
                     9
                         }body[Nbody];
                    10
                    11
                        //使い方
                    12
2015/07/22
                         position = body[0].getPos();
```

#### メンバ関数とは

- ●クラス内の変数(メンバ変数)達に対して、 何らかの処理を加えたい時に記述するもの。
- ●FDPSを用いる場合、 ユーザーはFDPSとユーザーコード間でデータのやりとりをする ためのメンバ関数を書く必要がある。

```
1 - class FPGrav{
                           PS::F64 mass;
                           PS::F64vec position;
                           PS::F64vec velocity;
                           PS::F64vec acceleration;
                           //member functions
                           PS::F64vec getPos(){
                     7 +
                             return position;
                     8
                     9
                         }body[Nbody];
                    10
                    11
                         //使い方
                    12
2015/07/22
                         position = body[0].getPos();
```

#### メンバ関数とは

- ●クラス内の変数(メンバ変数)達に対して、 何らかの処理を加えたい時に記述するもの。
- ●FDPSを用いる場合、 ユーザーはFDPSとユーザーコード間でデータのやりとりをする ためのメンバ関数を書く必要がある。

```
1 - class FPGrav{
                           PS::F64 mass;
                           PS::F64vec position;
                     3
                           PS::F64vec velocity;
                     4
                           PS::F64vec acceleration;
                           //member functions
                     6
                     7 +
                           PS::F64vec getPos(){
                             return position;
                     8
                     9
                    10
                         }body[Nbody];
                    11
                         //使い方
                    12
2015/07/22
                         position = body[0].getPos();
                    13
```

# (3) テンプレート template

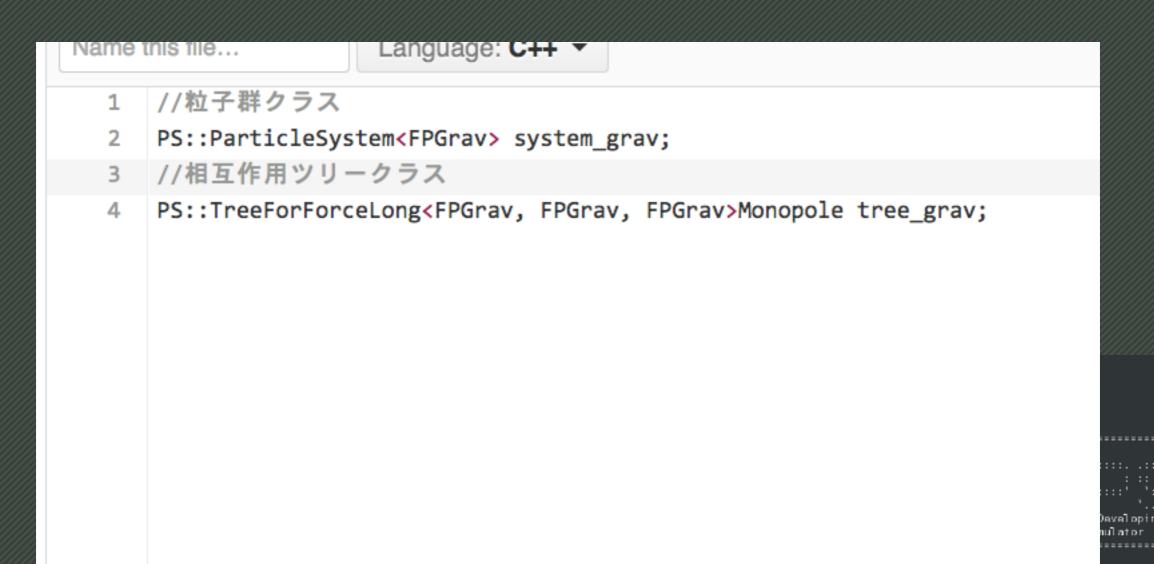
#### テンプレート

- ●同じ処理を違う型に対して行いたい時に書くもの。 クラスをテンプレート化したクラステンプレートと、 関数をテンプレート化した関数テンプレートが存在する。
- まずクラステンプレートについて解説し、その後関数テンプレートに関して解説する。



#### クラステンプレート

●FDPSでは、粒子群クラステンプレートの<>の中に 粒子クラスを入れる事で、粒子群クラスの実体が作られる。 同様に、相互作用ツリークラスの実体が作られる。



#### クラステンプレート

●FDPSでは、粒子群クラステンプレートの<>の中に 粒子クラスを入れる事で、粒子群クラスの実体が作られる。 同様に、相互作用ツリークラスの実体が作られる。

```
Language: C++ \
//粒子群クラス
 PS::ParticleSystem < FPGrav > system grav;
//相互作用ツリークラス
PS::TreeForForceLong<FPGrav, FPGrav, FPGrav>Monopole tree_grav;
       <i粒子クラス, j粒子クラス, リザルト>
```

#### クラステンプレート

●FDPSでは、粒子群クラステンプレートの<>の中に 粒子クラスを入れる事で、粒子群クラスの実体が作られる。 同様に、相互作用ツリークラスの実体が作られる。

```
Language.
                                                  1 - class FPGrav{
                                                        PS::F64 mass;
                 Language: C++
                                                        PS::F64vec position;
                                                  3
│//粒子群クラス
                                                       PS::F64vec velocity;
 PS::ParticleSystem<FPGrav> system grav;
                                                        PS::F64vec acceleration;
//相互作用ツリークラス
                                                       //member functions
PS::TreeForForceLong<FPGrav, FPGrav, FPGrav>Mc
                                                       PS::F64vec getPos(){
                                                  7 +
                                                          return position;
                                                      }body[Nbody];
                                                 10
                                                 11
                                                      //使い方
                                                 12
                                                      position = body[0].getPos(
                                                 13
```

- ●FDPSでは相互作用関数は関数テンプレートを用いて記述出来る。
- ●もちろん、関数テンプレートを用いずに記述する事も可能。 しかし、相互作用が長距離力の場合、 近傍の粒子からの相互作用と、ツリーノードからの相互作用 2つを書かなければならない。
- ●関数テンプレートならば1つだけで済むので、今回は関数テンプレートを用いたサンプルコードを紹介する。



- ●FDPSでは、ツリーノードのクラスは既に用意されているため、 今回はそれ(PS::SPJMonopole)を使う。
- ●相互作用関数はSPJMonopoleも使うので、 getPos();などを用いて書く必要がある。

```
Language. CTT
    template <class TParticleJ>
    void CalcGravity(const FPGrav * ep_i,
                      const PS::S32 n_ip,
                      const TParticleJ * ep_j,
                      const PS::S32 n_jp,
                      FPGrav * force) {
      for(PS::S32 i = 0; i < n_ip; i++){
        PS::F64vec xi = ep_i[i].getPos();
        for(PS::S32 j = 0; j < n_jp; j++){
           PS::F64vec rij = xi - ep_j[j].getPos();
10
          //相互作用計算
11
                                                                      amework for Developing
12
13
14
```

- ●FDPSでは、ツリーノードのクラスは既に用意されているため、 今回はそれ(PS::SPJMonopole)を使う。
- ●相互作用関数はSPJMonopoleも使うので、 getPos();などを用いて書く必要がある。

```
Language. CTT
    template <class TParticleJ>
    void CalcGravity(const FPGrav * ep_i,
3
                    const PS::S32 n_ip,
                    const TParticleJ * ep_j,
                   const PS::S32 n_jp,
 6 +
                    || FPGrav * force) {
      for(PS::S32 i = 0; i < n_ip; i++){
 7 +
        PS::F64vec xi = ep_i[i].getPos();
8
      for(PS::S32 j = 0; j < n_jp; j++){
 9 +
      PS::F64vec rij = xi - ep_j[j].getPos();
10
        //相互作用計算
11
12
13
14
```

- ●FDPSでは、ツリーノードのクラスは既に用意されているため、 今回はそれ(PS::SPJMonopole)を使う。
- ●相互作用関数はSPJMonopoleも使うので、 getPos();などを用いて書く必要がある。

14

```
Language. CTT
    template <class TParticleJ>
    void CalcGravity(const FPGrav * ep_i,
3
       | | | | | const TParticleJ * ep_j,
4
                const PS::S32 n_jp,
          6 +
     for(PS::S32 i = 0; i < n_ip; i++){
7 +
       PS::F64vec xi = ep_i[i].getPos();
      for(PS::S32 j = 0; j < n_jp; j++){
9 +
     PS::F64vec rij = xi - ep_j[j].getPos();
10
       //相互作用計算
11
12
13
```

#### コード構成

●ユーザーが書くべきもの #include <particle\_simulator.h> 粒子クラスと必要なメンバ関数 相互作用関数 時間積分ルーチン I/O (粒子クラスのI/Oと、FileHeaderクラス)



#### サンプルコード

- ●今回のサンプルコードの内容 重力 (w/ and w/o Phantom-GRAPE (Tanikawa+, 2011; 2012)) 時間積分法はleap-frog法 初期条件はその場生成(ファイル読み込みではない)
- ファイル構成 user-defined.hpp nbody.cpp



#### user-defined.hpp

naw

```
class FileHeader{
     public:
         PS::S64 n body;
         PS::F64 time;
         PS::S32 readAscii(FILE * fp) {
                     fscanf(fp, "%lf\n", &time);
                     fscanf(fp, "%lld\n", &n_body);
                     return n_body;
 8
 9
         void writeAscii(FILE* fp) const {
10
             fprintf(fp, "%e\n", time);
11
             fprintf(fp, "%lld\n", n_body);
12
13
     };
14
15
     class FPGrav{
16
     public:
17
         PS::S64 id;
18
         PS::F64
                    mass;
19
        PS::F64vec pos;
20
        PS::F64vec vel;
21
        PS::F64vec acc;
22
23
         PS::F64
                    pot;
24
```

## user-defined.hpp

```
class FileHeader{ クラス
     public:
         PS::S64 n_body;
         PS::F64 time;
         PS::S32 readAscii(FILE * fp) {
                     fscanf(fp, "%lf\n", &time);
                     fscanf(fp, "%lld\n", &n_body);
7
                     return n_body;
         void writeAscii(FILE* fp) const {
             fprintf(fp, "%e\n", time);
             fprintf(fp, "%lld\n", n_body);
     };
     class FPGrav{
17
     public:
         PS::S64 id;
         PS::F64
                   mass;
         PS::F64vec pos;
         PS::F64vec vel;
        PS::F64vec acc;
         PS::F64
                    pot;
```

## user-defined.hpp

```
class FileHeader{
     public:
         PS::S64 n body;
         PS::F64 time;
         PS::S32 readAscii(FILE * fp) {
                     fscanf(fp, "%lf\n", &time);
                     fscanf(fp, "%lld\n", &n_body);
                     return n_body;
         void writeAscii(FILE* fp) const {
             fprintf(fp, "%e\n", time);
             fprintf(fp, "%lld\n", n_body);
    };
     class FPGrav{
17
     public:
         PS::S64 id;
         PS::F64
                    mass;
        PS::F64vec pos;
         PS::F64vec vel;
        PS::F64vec acc;
         PS::F64
                    pot;
```

FileHeaderクラス

```
class FPGrav{
     public:
17
        PS::S64
                  id;
        PS::F64
                    mass;
        PS::F64vec pos;
        PS::F64vec vel;
        PS::F64vec acc;
        PS::F64
                    pot;
         static PS::F64 eps;
         PS::F64vec getPos() const {
             return pos;
         }
         PS::F64 getCharge() const {
             return mass;
         }
         void copyFromFP(const FPGrav & fp){
             mass = fp.mass;
             pos = fp.pos;
         }
         void copyFromForce(const FPGrav & force) {
             acc = force.acc;
             pot = force.pot;
         }
```

```
class FPGrav{
     public:
17
                   id;
        PS::S64
        PS::F64
                   mass;
        PS::F64vec pos;
                           粒子物理量
        PS::F64vec vel;
        PS::F64vec acc;
        PS::F64
                   pot;
         static PS::F64 eps;
         PS::F64vec getPos() const {
            return pos;
         PS::F64 getCharge() const {
            return mass;
         void copyFromFP(const FPGrav & fp){
            mass = fp.mass;
            pos = fp.pos;
         void copyFromForce(const FPGrav & force) {
            acc = force.acc;
            pot = force.pot;
```

```
PS::F64
           pot;
static PS::F64 eps;
PS::F64vec getPos() const {
    return pos;
}
PS::F64 getCharge() const {
    return mass;
}
void copyFromFP(const FPGrav & fp){
    mass = fp.mass;
    pos = fp.pos;
}
void copyFromForce(const FPGrav & force) {
    acc = force.acc;
    pot = force.pot;
}
void clear() {
    acc = 0.0;
    pot = 0.0;
}
    void writeAscii(FILE* fp) const {
```

#### FDPSにデータを渡すための メンバ関数

```
void clear() {
       acc = 0.0;
       pot = 0.0;
       void writeAscii(FILE* fp) const {
              this->id, this->mass,
              this->pos.x, this->pos.y, this->pos.z,
              this->vel.x, this->vel.y, this->vel.z);
       }
       void readAscii(FILE* fp) {
              fscanf(fp, "%11d\t%1f\t%1f\t%1f\t%1f\t%1f\t%1f\t%1f\tn",
              &this->id, &this->mass,
              &this->pos.x, &this->pos.y, &this->pos.z,
              &this->vel.x, &this->vel.y, &this->vel.z);
       }
};
PS::F64 FPGrav::eps = 1.0/32.0;
#ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
template <class TParticleJ>
void CalcGravity(const FPGrav * iptcl,
               const PS::S32 ni,
```

#### I/Oメンバ関数

```
相互作用
};
                              テンプレート関数
PS::F64 FPGrav::eps = 1.0/32.0;
                           (w/ Phantom-GRAPE)
#ifdef ENABLE PHANTOM GRAPE X86
template <class TParticleJ>
void CalcGravity(const FPGrav * iptcl,
                const PS::S32 ni,
                const TParticleJ * jptcl,
                const PS::S32 nj,
                FPGrav * force) {
   const PS::S32 nipipe = ni;
   const PS::S32 njpipe = nj;
   PS::F64 (*xi)[3] = (PS::F64 (*)[3])malloc(sizeof(PS::F64) * nipipe * PS::DIMENSION);
   PS::F64 (*ai)[3] = (PS::F64 (*)[3])malloc(sizeof(PS::F64) * nipipe * PS::DIMENSION);
   PS::F64 *pi = (PS::F64 * )malloc(sizeof(PS::F64) * nipipe);
   PS::F64 (*xj)[3] = (PS::F64 (*)[3])malloc(sizeof(PS::F64) * njpipe * PS::DIMENSION);
   PS::F64 *mj = (PS::F64 * )malloc(sizeof(PS::F64) * njpipe);
   for(PS::S32 i = 0; i < ni; i++) {
       xi[i][0] = iptcl[i].getPos()[0];
       xi[i][1] = iptcl[i].getPos()[1];
       xi[i][2] = iptcl[i].getPos()[2];
       ai[i][0] = 0.0;
       ai[i][1] = 0.0;
       ai[i][2] = 0.0;
       pi[i] = 0.0;
```

```
= jptcl[j].mass;
              mj[j]
      #ifdef PARTICLE_SIMULATOR_THREAD_PARALLEL
          PS::S32 devid = omp_get_thread_num();
      #else
          PS::S32 devid = 0;
      #endif
          g5_set_xmjMC(devid, 0, nj, xj, mj);
          g5_set_nMC(devid, nj);
          g5_calculate_force_on_xMC(devid, xi, ai, pi, ni);
          for(PS::S32 i = 0; i < ni; i++) {
              force[i].acc[0] += ai[i][0];
              force[i].acc[1] += ai[i][1];
              force[i].acc[2] += ai[i][2];
              force[i].pot -= pi[i];
          }
          free(xi);
117
          free(ai);
          free(pi);
          free(xj);
          free(mj);
      }
      #else
      template <class TParticleJ>
      void CalcGravity(const FPGrav * ep_i,
                       const PS::S32 n_ip,
                       const TParticleJ * ep_j,
                       const PS::S32 n jp,
```

```
template <class TParticleJ>
      void CalcGravity(const FPGrav * ep_i,
                       const PS::S32 n_ip,
                       const TParticleJ * ep_j,
                       const PS::S32 n_jp,
                       FPGrav * force) {
          PS::F64 eps2 = FPGrav::eps * FPGrav::eps;
          for(PS::S32 i = 0; i < n ip; i++){
              PS::F64vec xi = ep_i[i].getPos();
              PS::F64vec ai = 0.0;
              PS::F64 poti = 0.0;
              for(PS::S32 j = 0; j < n_jp; j++){</pre>
137
                  PS::F64vec rij = xi - ep_j[j].getPos();
                  PS::F64 r3_inv = rij * rij + eps2;
                  PS::F64 r inv = 1.0/sqrt(r3 inv);
                  r3_inv = r_inv * r_inv;
                  r_inv *= ep_j[j].getCharge();
                  r3_inv *= r_inv;
                  ai -= r3_inv * rij;
                  poti -= r_inv;
              force[i].acc += ai;
              force[i].pot += poti;
          }
      }
```

相互作用

#endif

テンプレート関数

```
template <class TParticleJ>
      void CalcGravity(const FPGrav * ep_i,
                      const PS::$32 n_ip,
                      const TParticleJ * ep_j,
                      const PS::$32 n_jp,
                      FPGrav * force) {
          PS::F64 eps2 = FPGrav::eps * FPGrav::eps;
         for(PS::S32 i = 0; i < n ip; i++){
              PS::F64vec xi = ep_i[i].getPos();
134
              PS::F64vec ai = 0.0;
              PS::F64 poti = 0.0;
             for(PS::S32 j = 0; j < n_jp; j++){
137
                 PS::F64vec rij = xi - ep_j[j].getPos();
                 PS::F64 r3_inv = rij * rij + eps2;
                 PS::F64  r_inv = 1.0/sqrt(r3_inv);
                 r3_inv = r_inv * r_inv;
                 r_inv *= ep_j[j].getCharge();
                 r3_inv *= r_inv;
                 ai -= r3_inv * rij;
                 poti -= r_inv;
              force[i].acc += ai;
              force[i].pot += poti;
                                          相互作用
      #endif
```

```
template <class TParticleJ>
      void CalcGravity(const FPGrav * ep_i,
                       const PS::S32 n_ip,
                      const TParticleJ * ep_j,
                       const PS::S32 n_jp,
                      FPGrav * force) {
         PS::F64 eps2 = FPGrav::eps * FPGrav::eps;
         for(PS::S32 i = 0; i < n_ip; i++){
              PS::F64vec xi = ep_i[i].getPos();
              PS::F64vec ai = 0.0;
              PS::F64 poti = 0.0;
              for(PS::S32 j = 0; j < n_jp; j++){
137
                  PS::F64vec rij = xi - ep_j[j].getPos();
                 PS::F64 r3_inv = rij * rij + eps2;
                 PS::F64  r_inv = 1.0/sqrt(r3_inv);
                 r3_{inv} = r_{inv} * r_{inv};
                 r_inv *= ep_j[j].getCharge();
                 r3_inv *= r_inv;
                  ai -= r3_inv * rij;
                  poti -= r_inv;
             force[i].acc += ai;
             force[i].pot += poti;
                                          相互作用
      #endif
```

# nbody.cpp

Haw

ыа

```
327 IIIIeS (294 SIOC)
       #include<iostream>
   1
       #include<fstream>
       #include<unistd.h>
   3
       #include<sys/stat.h>
   4
       #include<particle_simulator.hpp>
   5
       #ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
   6
       #include <gp5util.h>
   7
       #endif
   8
       #include "user-defined.hpp"
   9
  10
       void makeColdUniformSphere(const PS::F64 mass_glb,
  11
                                    const PS::S64 n glb,
  12
                                    const PS::S64 n loc,
  13
                                    PS::F64 *& mass,
  14
                                    PS::F64vec *& pos,
  15
                                    PS::F64vec *& vel,
  16
                                    const PS::F64 eng = -0.25,
  17
                                    const PS::S32 seed = 0) {
  18
  19
            assert(eng < 0.0);</pre>
  20
  21
                PS::MTTS mt;
  22
                mt.init_genrand(0);
  23
                for(PS::S32 i = 0; i < n_loc; i++){</pre>
  24
```

macc[il = macc alh / n alh:

2 =

# nbody.cpp

```
32/ IINES (294 SIOC)
                                                                                                Haw Bla
       #include<iostream>
   1
       #include<fstream>
       #include<unistd.h>
       #include<sys/stat.h>
                                             FDPSをincludeする
       #include<particle_simulator.hpp>
       #ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
       #include <gp5util.h>
   7
       #endif
       #include "user-defined.hpp"
       void makeColdUniformSphere(const PS::F64 mass_glb,
                                   const PS::S64 n glb,
                                   const PS::S64 n loc,
                                   PS::F64 *& mass,
  14
                                  PS::F64vec *& pos,
                                   PS::F64vec *& vel,
                                  const PS::F64 eng = -0.25,
  17
                                   const PS::S32 seed = 0) {
           assert(eng < 0.0);</pre>
               PS::MTTS mt;
               mt.init_genrand(0);
               for(PS::S32 i = 0; i < n_loc; i++){
```

macc[i] - macc alh / n alh.

```
template<class Tpsys>
void kick(Tpsys & system,
          const PS::F64 dt) {
    PS::S32 n = system.getNumberOfParticleLocal();
    for(PS::S32 i = 0; i < n; i++) {
        system[i].vel += system[i].acc * dt;
}
template<class Tpsys>
void drift(Tpsys & system,
           const PS::F64 dt) {
    PS::S32 n = system.getNumberOfParticleLocal();
    for(PS::S32 i = 0; i < n; i++) {
        system[i].pos += system[i].vel * dt;
}
template<class Tpsys>
void calcEnergy(const Tpsys & system,
                PS::F64 & etot,
                PS::F64 & ekin,
                PS::F64 & epot,
                const bool clear=true){
   if(clear){
        etot = ekin = epot = 0.0;
    PS::F64 etot_loc = 0.0;
    PS::F64 ekin_loc = 0.0;
```

### leap-frog法による 時間積分

```
template<class Tpsys>
void kick(Tpsys & system,
         const PS::F64 dt) {
   PS::S32 n = system.getNumberOfParticleLocal();
   for(PS::S32 i = 0; i < n; i++) {
       system[i].vel += system[i].acc * dt;
     getNumberOfParticleLocal()
templatecclassで粒子数が取得できる
void drift(Tpsys & system,
          const PS::F64 dt) {
   PS::S32 n = system.getNumberOfParticleLocal();
   for(PS::S32 i = 0; i < n; i++) {
       system[i].pos += system[i].vel * dt;
template<class Tpsys>
void calcEnergy(const Tpsys & system,
               PS::F64 & etot,
               PS::F64 & ekin,
               PS::F64 & epot,
               const bool clear=true){
   if(clear){
       etot = ekin = epot = 0.0;
   PS::F64 etot_loc = 0.0;
   PS::F64 ekin loc = 0.0;
```

```
template<class Tpsys>
void kick(Tpsys & system,
         const PS::F64 dt) {
   PS::S32 n = system.getNumberOfParticleLocal();
   for(PS::S32 i = 0; i < n; i++) {
       system[i].vel += system[i].acc * dt;
       粒子群クラスに[i]をつけると
template i粒子のデータが取得できる
void drift(Tpsys & system,
          const PS::F64 dt) {
   PS::S32 n = system.getNumberOfParticleLocal();
   for(PS::S32 i = 0; i < n; i++) {
       system[i].pos += system[i].vel * dt;
template<class Tpsys>
void calcEnergy(const Tpsys & system,
              PS::F64 & etot,
              PS::F64 & ekin,
              PS::F64 & epot,
               const bool clear=true){
   if(clear){
       etot = ekin = epot = 0.0;
   PS::F64 etot loc = 0.0;
   PS::F64 ekin loc = 0.0;
```

```
メイン関数開始
int main(int argc, char *argv[]) {
    std::cout<<std::setprecision(15);</pre>
    std::cerr<<std::setprecision(15);</pre>
    PS::Initialize(argc, argv);
    PS::F32 theta = 0.5;
    PS::S32 n leaf limit = 8;
    PS::S32 n group limit = 64;
    PS::F32 time end = 10.0;
    PS::F32 dt = 1.0 / 128.0;
    PS::F32 dt_diag = 1.0 / 8.0;
    PS::F32 dt_snap = 1.0;
    char dir_name[1024];
    PS::S64 n_tot = 1024;
    PS::S32 c;
    sprintf(dir_name,"./result");
   opterr = 0;
   while((c=getopt(argc,argv,"i:o:d:D:t:T:l:n:N:hs:")) != -1){
        switch(c){
        case 'o':
            sprintf(dir_name,optarg);
            break;
        case 't':
            theta = atof(optarg);
            std::cerr << "theta =" << theta << std::endl;
            break;
        case 'T':
            time_end = atof(optarg);
            std::cerr << "time_end = " << time_end << std::endl;</pre>
```

```
int main(int argc, char *argv[]) {
    std::cout<<std::setprecision(15);</pre>
    std::cerr<<std::setprecision(15);</pre>
                                       FDPS初期化
   PS::Initialize(argc, argv);
    PS::F32 theta = 0.5;
    PS::S32 n_leaf_limit = 8;
    PS::S32 n group limit = 64;
    PS::F32 time end = 10.0;
    PS::F32 dt = 1.0 / 128.0;
    PS::F32 dt_diag = 1.0 / 8.0;
    PS::F32 dt_snap = 1.0;
    char dir_name[1024];
    PS::S64 n_tot = 1024;
    PS::S32 c;
    sprintf(dir_name,"./result");
    opterr = 0;
    while((c=getopt(argc,argv,"i:o:d:D:t:T:l:n:N:hs:")) != -1){
        switch(c){
        case 'o':
            sprintf(dir_name,optarg);
            break;
        case 't':
            theta = atof(optarg);
            std::cerr << "theta =" << theta << std::endl;</pre>
            break;
        case 'T':
            time_end = atof(optarg);
            std::cerr << "time_end = " << time_end << std::endl;</pre>
```

```
while((c=getopt(argc,argv,"i:o:d:D:t:T:l:n:N:hs:")) != -1){
    switch(c){
    case 'o':
        sprintf(dir_name,optarg);
        break;
   case 't':
        theta = atof(optarg);
        std::cerr << "theta =" << theta << std::endl;</pre>
        break;
    case 'T':
        time_end = atof(optarg);
        std::cerr << "time_end = " << time_end << std::endl;</pre>
        break;
    case 's':
        dt = atof(optarg);
        std::cerr << "time_step = " << dt << std::endl;</pre>
        break;
    case 'd':
        dt_diag = atof(optarg);
        std::cerr << "dt_diag = " << dt_diag << std::endl;</pre>
        break;
    case 'D':
        dt_snap = atof(optarg);
        std::cerr << "dt_snap = " << dt_snap << std::endl;</pre>
        break;
    case '1':
        n_leaf_limit = atoi(optarg);
        std::cerr << "n_leaf_limit = " << n_leaf_limit << std::endl;</pre>
        break;
    case 'n'.
```

### コマンドライン 引数の解析

```
break;
    case '1':
        n_leaf_limit = atoi(optarg);
        std::cerr << "n_leaf_limit = " << n_leaf_limit << std::endl;</pre>
        break;
    case 'n':
        n_group_limit = atoi(optarg);
        std::cerr << "n_group_limit = " << n_group_limit << std::endl;</pre>
        break;
    case 'N':
        n_tot = atoi(optarg);
        std::cerr << "n_tot = " << n_tot << std::endl;
        break;
    case 'h':
        if(PS::Comm::getRank() == 0) {
            printHelp();
        }
        PS::Finalize();
        return 0;
    default:
        if(PS::Comm::getRank() == 0) {
            std::cerr<<"No such option! Available options are here."<<std::endl;
            printHelp();
        PS::Abort();
}
makeOutputDirectory(dir_name);
```

```
粒子群クラスの
          PS::ParticleSystem<FPGrav> system_grav;
          system_grav.initialize();
                                                     生成・初期化
          PS::S32 n_loc
                          = 0;
          PS::F32 time_sys = 0.0;
          if(PS::Comm::getRank() == 0) {
              setParticlesColdUniformSphere(system_grav, n_tot, n_loc);
          } else {
247
              system grav.setNumberOfParticleLocal(n loc);
          const PS::F32 coef_ema = 0.3;
          PS::DomainInfo dinfo;
          dinfo.initialize(coef_ema);
          dinfo.collectSampleParticle(system grav);
          dinfo.decomposeDomain();
          system grav.exchangeParticle(dinfo);
          n_loc = system_grav.getNumberOfParticleLocal();
     #ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
         g5_open();
          g5_set_eps_to_all(FPGrav::eps);
     #endif
          PS::TreeForForceLong<FPGrav, FPGrav, FPGrav>::Monopole tree grav;
          tree_grav.initialize(n_tot, theta, n_leaf_limit, n_group_limit);
          tree_grav.calcForceAllAndWriteBack(CalcGravity<FPGrav>,
                                            CalcGravity<PS::SPJMonopole>,
```

cyctom anav

ipitific (scaer, Namber of threads per process. Auth, Ps. Commissection in each ()),

```
ipiting (scaling, Number of threads per process, auth, Ps., Commissing Chamber of thread ()),
          PS::ParticleSystem<FPGrav> system grav;
          system grav.initialize();
          PS::S32 n_loc
         PS::F32 time_sys = 0.0;
         if(PS::Comm::getRank() == 0) {
              setParticlesColdUniformSphere(system_grav, n_tot, n_loc);
         } else {
247
              system grav.setNumberOfParticleLocal(n loc);
          const PS::F32 coef_ema = 0.3;
         PS::DomainInfo dinfo;
          dinfo.initialize(coef_ema);
          dinfo.decomposeDomainAll(system_grav);
          system_grav.exchangeParticle(dinfo);
          n_loc = system_grav.getNumberOfParticleLocal();
                                                生成・初期化
      #ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
                                                   領域分割
         g5_open();
          g5_set_eps_to_all(FPGrav::eps);
      #endif
          PS::TreeForForceLong<FPGrav, FPGrav, FPGrav>::Monopole tree grav;
          tree_grav.initialize(n_tot, theta, n_leaf_limit, n_group_limit);
          tree_grav.calcForceAllAndWriteBack(CalcGravity<FPGrav>,
                                             CalcGravity<PS::SPJMonopole>,
```

```
ipiting (scaling, Number of threads per process, auth, Ps., Commissing Chamber of thread ()),
          PS::ParticleSystem<FPGrav> system grav;
          system grav.initialize();
          PS::S32 n_loc
          PS::F32 time_sys = 0.0;
          if(PS::Comm::getRank() == 0) {
              setParticlesColdUniformSphere(system_grav, n_tot, n_loc);
         } else {
247
              system grav.setNumberOfParticleLocal(n loc);
          const PS::F32 coef_ema = 0.3;
          PS::DomainInfo dinfo;
          dinfo.initialize(coef_ema);
         dinfo.decomposeDomainAll(system_grav);
                                                      粒子交換
          system_grav.exchangeParticle(dinfo);
          n_loc = system_grav.getNumberOfParticleLocal();
      #ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
         g5_open();
          g5_set_eps_to_all(FPGrav::eps);
      #endif
          PS::TreeForForceLong<FPGrav, FPGrav, FPGrav>::Monopole tree_grav;
          tree_grav.initialize(n_tot, theta, n_leaf_limit, n_group_limit);
          tree_grav.calcForceAllAndWriteBack(CalcGravity<FPGrav>,
                                             CalcGravity<PS::SPJMonopole>,
                                             cyctom anav
```

```
PS::TreeForForceLong<FPGrav, FPGrav, FPGrav>::Monopole tree grav;
tree_grav.initialize(n_tot, theta, n_leaf_limit, n_group_limit);
tree_grav.calcForceAllAndWriteBack(CalcGravity<FPGrav>,
目互作用ツリークラスの CalcGravity<PS::SPJMonopole>,
                                  system grav,
      生成・初期化
                                  dinfo);
PS::F64 Epot0, Ekin0, Etot0, Epot1, Ekin1, Etot1;
calcEnergy(system grav, Etot0, Ekin0, Epot0);
PS::F64 time_diag = 0.0;
PS::F64 time_snap = 0.0;
PS::S64 n_loop = 0;
PS::S32 id snap = 0;
while(time sys < time end){</pre>
   if( (time_sys >= time_snap) || ( (time_sys + dt) - time_snap ) > (time_snap - time_sys) ){
        char filename[256];
       sprintf(filename, "%s/%04d.dat", dir_name, id_snap++);
       FileHeader header;
       header.time = time sys;
       header.n_body = system_grav.getNumberOfParticleGlobal();
       system_grav.writeParticleAscii(filename, header);
       time snap += dt snap;
    calcEnergy(system_grav, Etot1, Ekin1, Epot1);
    if(PS::Comm::getRank() == 0){
       if( (time_sys >= time_diag) || ( (time_sys + dt) - time_diag ) > (time_diag - time_sys)
           fout_eng << time_sys << " " << (Etot1 - Etot0) / Etot0 << std::endl;
            fprintf(stderr, "time: %10.7f energy error: %+e\n",
```

```
PS::TreeForForceLong<FPGrav, FPGrav, FPGrav>::Monopole tree grav;
tree_grav.initialize(n_tot, theta, n_leaf_limit, n_group_limit);
tree_grav.calcForceAllAndWriteBack(CalcGravity<FPGrav>,
                                  CalcGravity<PS::SPJMonopole>,
                                  system grav,
                                  dinfo);
PS::F64 Epot0, Ekin0, Etot0, Epot1, Ekin1, Etot1;
                                                      相互作用関数を用いた
calcEnergy(system_grav, Etot0, Ekin0, Epot0);
PS::F64 time_diag = 0.0;
                                                                力の計算
PS::F64 time_snap = 0.0;
PS::S64 n_loop = 0;
PS::S32 id_snap = 0;
while(time sys < time end){</pre>
   if( (time_sys >= time_snap) || ( (time_sys + dt) - time_snap ) > (time_snap - time_sys) ){
       char filename[256];
       sprintf(filename, "%s/%04d.dat", dir_name, id_snap++);
       FileHeader header;
       header.time = time_sys;
       header.n_body = system_grav.getNumberOfParticleGlobal();
       system_grav.writeParticleAscii(filename, header);
       time snap += dt snap;
   calcEnergy(system_grav, Etot1, Ekin1, Epot1);
   if(PS::Comm::getRank() == 0){
       if( (time_sys >= time_diag) || ( (time_sys + dt) - time_diag ) > (time_diag - time_sys)
           fout_eng << time_sys << " " << (Etot1 - Etot0) / Etot0 << std::endl;
           fprintf(stderr, "time: %10.7f energy error: %+e\n",
```

```
PS::F64 time diag = 0.0;
PS::F64 time snap = 0.0;
PS::S64 n loop = 0;
                                         時間積分
PS::S32 id_snap = 0;
while(time_sys < time_end){</pre>
    if( (time_sys >= time_snap) || ( (time_sys + dt) - time_snap ) > (time_snap - time_sys) ){
        char filename[256];
        sprintf(filename, "%s/%04d.dat", dir name, id snap++);
        FileHeader header;
        header.time = time_sys;
        header.n_body = system_grav.getNumberOfParticleGlobal();
        system_grav.writeParticleAscii(filename, header);
        time_snap += dt_snap;
    }
    calcEnergy(system grav, Etot1, Ekin1, Epot1);
    if(PS::Comm::getRank() == 0){
        if( (time_sys >= time_diag) || ( (time_sys + dt) - time_diag ) > (time_diag - time_sys)
            fout_eng << time_sys << " " << (Etot1 - Etot0) / Etot0 << std::endl;
            fprintf(stderr, "time: %10.7f energy error: %+e\n",
                    time_sys, (Etot1 - Etot0) / Etot0);
            time diag += dt diag;
    kick(system_grav, dt * 0.5);
    time sys += dt;
```

```
kick(system_grav, dt * 0.5);
              time_sys += dt;
              drift(system_grav, dt);
              if(n_loop % 4 == 0){
                  dinfo.decomposeDomainAll(system_grav);
              }
              system_grav.exchangeParticle(dinfo);
              tree_grav.calcForceAllAndWriteBack(CalcGravity<FPGrav>,
                                                CalcGravity<PS::SPJMonopole>,
                                                system_grav,
                                                dinfo);
              kick(system_grav, dt * 0.5);
317
              n loop++;
         }
                                                時間積分終了
      #ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
          g5_close();
      #endif
          PS::Finalize();
```

return 0;

```
kick(system_grav, dt * 0.5);
              time_sys += dt;
              drift(system_grav, dt);
              if(n_loop % 4 == 0){
                  dinfo.decomposeDomainAll(system_grav);
              system_grav.exchangeParticle(dinfo);
              tree_grav.calcForceAllAndWriteBack(CalcGravity<FPGrav>,
                                                 CalcGravity<PS::SPJMonopole>,
                                                 system_grav,
                                                 dinfo);
              kick(system_grav, dt * 0.5);
317
              n_loop++;
      #ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
          g5_close();
      #endif
                              FDPS終了
          PS::Finalize();
          return 0;
```

```
kick(system_grav, dt * 0.5);
              time_sys += dt;
              drift(system_grav, dt);
              if(n_loop % 4 == 0){
                  dinfo.decomposeDomainAll(system_grav);
              system_grav.exchangeParticle(dinfo);
              tree_grav.calcForceAllAndWriteBack(CalcGravity<FPGrav>,
                                                 CalcGravity<PS::SPJMonopole>,
                                                 system_grav,
                                                 dinfo);
              kick(system_grav, dt * 0.5);
317
              n_loop++;
      #ifdef ENABLE_PHANTOM_GRAPE_X86
          g5_close();
      #endif
          PS::Finalize();
          return 0;
        326行!
326
```

## 最後に

- ●ユーザーが書かなければならないのは大体これくらい。
  - →重力の場合は326+152行で終わる。
- ●コード内に並列化を意識するようなところは無かった。
  - →コンパイルの仕方だけでOpenMPやMPIを切り替えられる。



## 実習の流れ

- ●詳しくはFDPS講習会の手引を御覧ください。 (http://www.jmlab.jp/?p=530)
- 実習用のFOCUSスパコンにログイン サンプルコードを (1)並列化無し (2)OpenMP (3)OpenMP + MPI の3パターンについでコンパイル・実行

#### 【計算内容】

重力

cold collapse

流体 (Smoothed Particle Hydrodynamics法) adiabatic sphere collapse

●結果の解析

